

# NO! リニア

No. 171

2024年4月8日

JR東海労働組合

JR東海労HP  
にアクセス↓



## 山梨県駅、座光寺高架橋完成は2031年! 開業の遅れは静岡県のせいではなかった!

沢田尚夫常務は4月4日の記者会見で、山梨県甲府市と中央市にまたがる山梨県駅（仮称）、長野県飯田市の座光寺高架橋の完成が共に2031年になる見通しを公表しました。山梨県駅は6年8ヶ月、座光寺高架橋は5年10ヶ月の工期を要するとしました。「工事の内容を精査したところ、2027年までに完了させるのは難しい」というものです。

会社は3月29日、有識者のモニタリング会議の場で品川～名古屋間の2027年開業断念を明らかにした際、「静岡工区の工事の遅れ」を理由としました。山梨、長野の工期の遅れは「地元との協議などに時間を要した」ためとし、静岡工区の遅れの範囲に収まることからあくまで「開業時期に影響はない」と説明しました。

また、3月29日に開催した「令和6年度運営方針について」の経営協議会でも、会社側委員は「着手できていないのが静岡工区のみだ。開業時期は着手ができていくかどうかで決まる」と、静岡県の責任に押し付けたのです。

今回の公表で、静岡県悪者論の破綻が明確になりました。川勝静岡県知事が辞意を表明したことで、山梨県駅と座光寺高架橋の開業遅れを公表するのにちょうど良いタイミングであったのでしょうか。仮に、川勝知事が辞意を表明しなければ、公表したのかどうかは疑問に残るところです。

工事の遅れは、沿線全都府県で発生しています。この先、完成予定が2031年よりはるかに遅い時期で公表される可能性は大です。

リニア建設は直ちに止めるべきです。